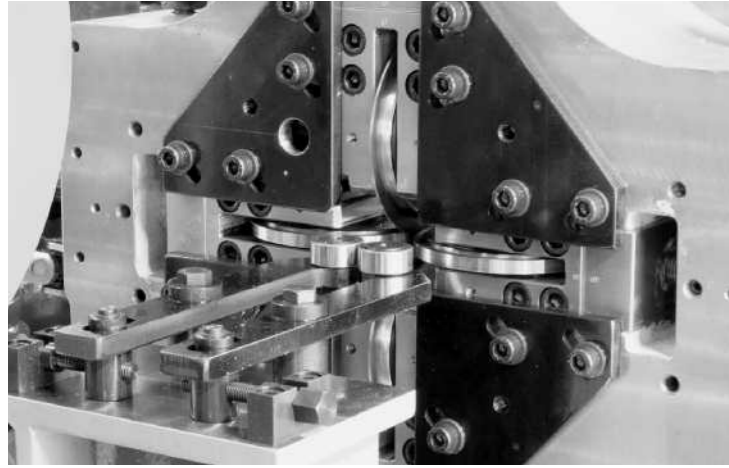


線材加工機と関連製品



異形線など多様な断面形状に対応するタークスヘッド
(アサヒ精機鉄工提供)

オーニングマシンな

連続して行うワイヤフ
イル材から引き出して
このため軽量化に貢献
する特殊な材質や形状
を持つ素材の要求が高
まっています。

また直線切断機はコ
イル状に巻かれた線材
を矯正して任意の長さ
にそろえる。さらにワ
ークを曲げ加工するベ
ンダーや、曲げ加工か
ら切断までの加工をコ
ンパクトな構造で実現
している。自動車業界
では、低燃費や電動化
の普及のため、軽量化
への取り組みが進む。

どう、さまざまな機械が
加工現場を支えてい
る。

異形線で差別化を図る

P R

線材加工機は線材を塑性加工で任意の形状に仕上げる各種機械。各工程や用途に応じて活躍している。加工機を通して生み出された線材は自動車をはじめ工作機械、建築、医療など幅広い分野で部品、資材として活用され、重要な役割を果たしている。最近では、新製品の試作・開発向けに特殊な素材の加工対象物(ワーク)が増えており、加工機の加工精度も高いレベルが求められている。

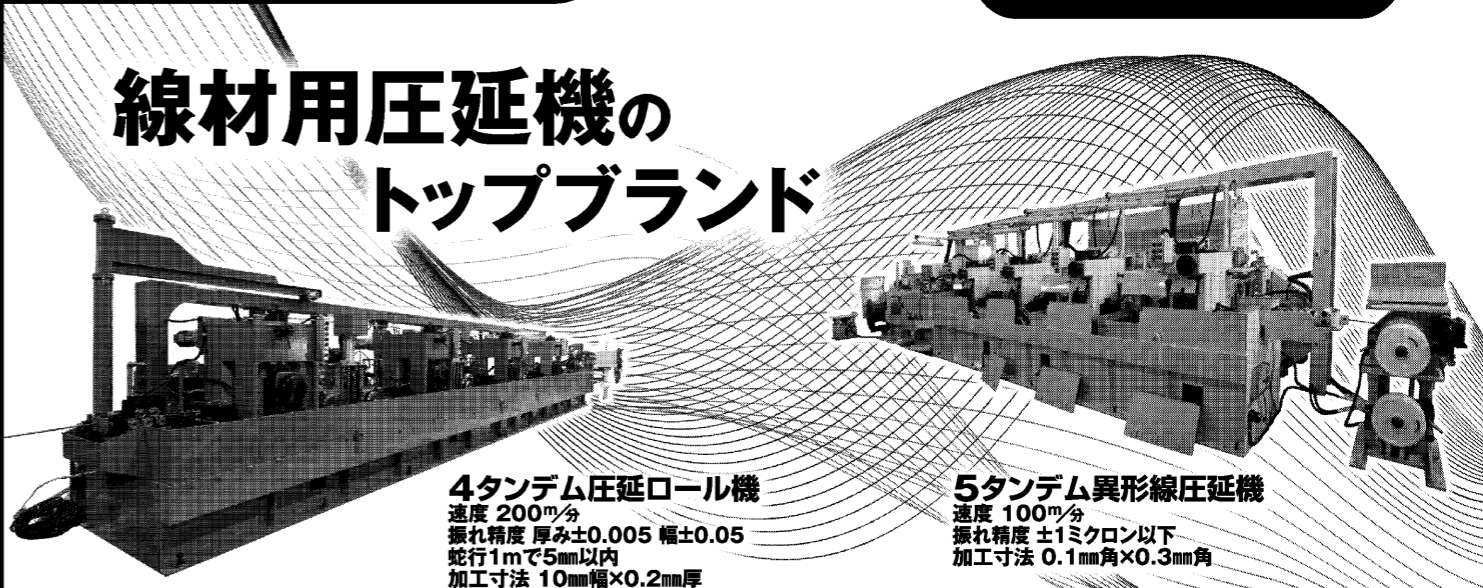
線材加工機の種類はして加工する圧延機、多種多様なあり、各工たたいて径を細めるス程にに応じて活用されて エーシングマシンなどいる。ダイスの穴を通が活躍。4方向に配置して線材を細く引き伸したロールで引き抜き加工ができるタークスは圧延ロールの間に通ヘッドは加工対象物

(ワーク)の断面形状を自在に変形でき、異形線など幅広い形状の加工に対応する。異形線加工は、線材を任意の形状の溝をつけたロールに通して特殊な形状に仕上げる。国内加工機メーカーでは、高精度で特殊な断面形状の加工に対応できる異形線加工で海外製品との差別化を図り、付加価値を高めている。

アサヒ精機鉄工の圧延機

従業員さん募集中

線材用圧延機の トップブランド



4タンデム圧延ロール機
速度 200m分
振れ精度 厚み±0.005 幅±0.05
蛇行1mで5mm以内
加工寸法 10mm幅×0.2mm厚

5タンデム異形線圧延機
速度 100m分
振れ精度 ±1ミクロン以下
加工寸法 0.1mm角×0.3mm角

製造品目 冷間圧延ロール機・各種伸線機・各種産業機械・設計製作



アサヒ精機鉄工株式会社

第一工場 〒578-0901 大阪府東大阪市加納4-13-9 電話 072-968-0101 FAX 072-968-0102
第二工場 〒578-0901 大阪府東大阪市加納6-7-47 電話 072-889-1501 FAX 072-889-1502
ホームページ <http://www.astkk.co.jp> メールアドレス office@astkk.co.jp

いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。

1.5℃の約束



日刊工業新聞社は「SDGメディア・コンパクト」加盟メディアとして、
気候アクションを推進する国連のACT NOWキャンペーンを支援しています。





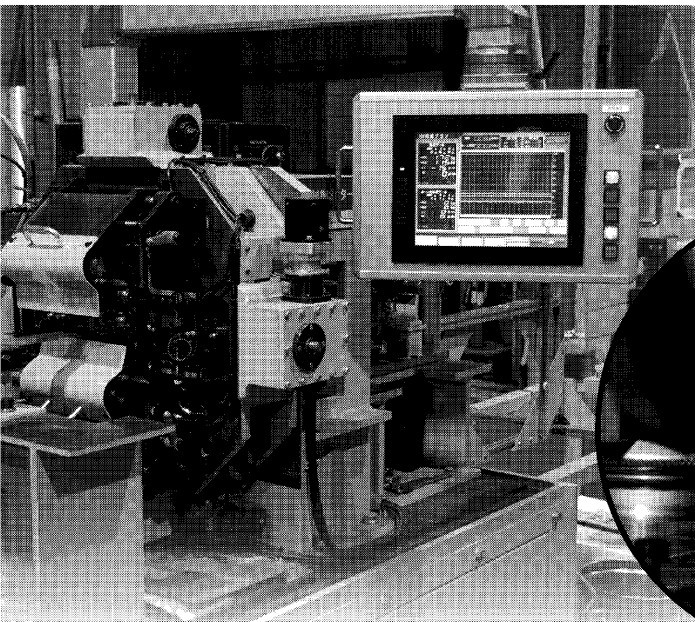
経験値から数値制御へ

圧延ノウハウの蓄積に貢献します！

NC制御3Uタークスヘッド

この製品は平角線の厚み幅寸法調整をタッチパネルから設定可能です。圧下4軸とスライド4軸の、全8軸を同時駆動する事で、自動運転中であっても、任意に厚み幅の圧下設定値を調整可能です。さらに、パスラインを4方向に微調整することができます。本装置は上下駆動減速機を使用したロール駆動タークスで、ご要望に応じて上下別駆動タイプやVロール駆動タイプも設計いたします。

モータトルクや圧延荷重を波形データとして残す事で、御社のノウハウ蓄積に貢献します。

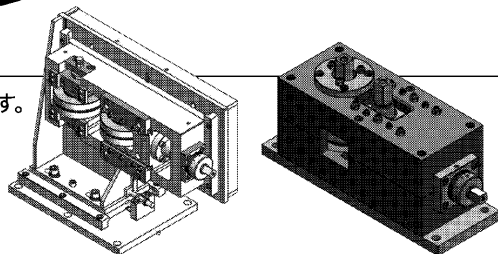


ERシリーズ 横型、高剛性タイプのエッジャー圧延機

エッジャー圧延機とは、平角線や異形線を圧延加工する際に使用する幅寸法調整ユニットです。ユニットとして販売している為、ラインに組み込みやすくタンデム圧延ラインの中で幅方向に若干の圧延を加えたい場合に活躍いたします。

ボックスタイプの高剛性エッジャー圧延機です。

高剛性エッジャー圧延機が「ボックスタイプ」となりますが、クレーンの無い環境におすすめの「オープンタイプ」も製造しております。



▶ ロール交換が容易なオープンタイプ ▶ 高剛性なボックスタイプ

正社員募集中

株式会社 **ヤスオカ**

〒582-0023 大阪府柏原市国分東条町4331-1 TEL.072-976-0324 E-mail: info@yasuoka.co.jp
FAX.072-976-0769 H P: www.yasuoka.co.jp



HPIはこちら

高精度加工でモノづくり支える

多品種加工ニーズ高まる

一方で、線材を活用 あるいは加工機メーカーの製品を開発し、新しい新製品開発として、ワークの材質や、よう顧客の要望に応じた多様な金属と掛け 線径、幅などに合わせて設計している。ユニに対応している。合わせた合金製のワイヤー、圧延ロールの材質、ツトを組み替えること、こうした加工機メーカーの試作・開発が進む。やサイズ、形状などを、圧延ロールの大きさ、カー各社のユーザーにむ。こうした特殊な素 工夫し、オーダーメー さや数を調整でき、1 ーズに即したきめ細かい加工が増え、加工 ドで設計している。また多品種加工への 対応する。台で幅広い品種の加工 に対応する。

多品種加工への対応が ニーズに応え、加工ラ さらに、線材をまと る。インの工程ごとにユニ めてコイル状にするポ

ピン一つでも、ボビンの取り付け部を交換できるように設計すること、幅広い材質、線径の coils の巻き取り

有力企業の製品・技術 (順不同)

アサヒ精機鉄工

アサヒ精機鉄工は1971年創業の線材加工機メーカー。約半世紀の歴史で培った技術を生かし高精度、高速加工、高い直線度を誇る線材加工機を開発している。線材用冷間圧延ロール機や各種伸線機、伸線機の性能を大幅にアップさせる改造も行っている。高精度を実現する測定制御機器も充実。

「アサヒミルコントローラーAMシリーズ」は製造線材の幅、厚みを正確に管理・制御し、高速圧延工程の連続管理を可能にする。

ヤスオカ

ヤスオカは自動車や産業機械向け部品の圧延ラインを製造している。加工対象物(ワーク)は線材だけでなく、35mm角までの角線用の棒材も対応。棒材圧延ラインはダンサーレス制御ラインとして製造を手がけている。2016年から展開している数値制御(NC)タークス圧延機は、5秒の圧延ロールに加えて3秒タイプも販売。モーターコイル用などの平角線圧延に対応した圧延テストや製品サンプル製作に取り組んでいる。燃(よ)り線やエナメルなどがコーティングされた平角線材のテストも実施している。